

『ドチリナキリシタン』(1592)の「ことばのやわらげ」採録語の出所について ——A部からN部まで——

千葉 軒士*

Quotation of *Cotoba no Yauarague* in the *Doctrina Christan* (1592)

CHIBA Takashi

要 約

本稿は、『ドチリナキリシタン』(1592)に付される語彙集「ことばのやわらげ」に採録される語を精査し、その出所を示すものである。この「ことばのやわらげ」には207語が採録されるが、本稿ではそのうちのA部からN部までの102語の出所を明示した。採録語の大部分は『ドチリナキリシタン』内で使用される語だが、一部本文で使用されていない語も存在することを確認した。また、当時の日本語辞書・ポルトガル語辞書のどちらにおいても他に類を見ない大部である『日葡辞書』(1603-1604)に見出し語として採録されていない語も含まれており、『日葡辞書』誕生以前の宣教師たちの日本語学習では取りあげられていた語の存在も確認した。

キーワード：ドチリナキリシタン、ことばのやわらげ、日葡辞書

1. 問題の所在と目的

日本の中世におけるキリシタン・日本語ローマ字本の資料には該当するテキスト内に存在する難語などを抜き出し、それに対する説明を施しABC順に並べた語彙集である「ことばのやわらげ」が付されるものがある。この「ことばのやわらげ」の特徴について、山田(2004)がキリシタン版の巻末語彙集の語釈が文脈から離れた一般辞書を志向する特徴がみられるとし、一方豊島(2017)が逆に文脈依存性を持つ部分に注目した。これらの研究を踏まえ、千葉(2017)で『天草版平家物語』(1592)に付随される手書きの「ことばのやわらげ」(森田(1976)で言う「難語句解」)について精査したところ、『天草版平家物語』を深く理解するための文脈に強く依存した語彙集であり、且つ本文から離れた自立性の

ある日本語理解のための語彙集でもあると指摘した。このようにローマ字本に付随する「ことばのやわらげ」がどのような資料であるのかは、「ことばのやわらげ」の各語を精査することによって判断するしかない。しかし、その精査を行うには、「ことばのやわらげ」の採録語が本文中のどこで用いられているのかを特定し、どのように利用しているかの確認までもしななければならないが、残念ながら「ことばのやわらげ」の採録語に出所は明示されていない。

また、この「ことばのやわらげ」が当時の日本語辞書・ポルトガル語辞書のどちらにおいても他に類を見ない大部である『日葡辞書』(1603-1604)が成立後の各文献では付されなくなることを先述の山田(2004)が指摘する。『日葡辞書』の序言には以下の記載がある。

* 中部大学現代教育学部

辞書は、どのような言語を学ぶのにも必要か

つ重要な手引きであるから、われわれ日本に在留するイエズス会のパアレが、長年にわたって希望してきたことは、この国のキリスト教を育成し伸張させようと新たに渡来するパアレやイルマンたちに、日本語学習の手引きともなり助けともなるものを供するために、辞書を作り上げて印刷に付することであった。しかし、そのためには、この言語の用法に関する多くの知識と経験とが要求され、それに加えて語彙の精密な吟味を必要とするので、そのような大事業を短時日の間に成しとげることは不可能であった。もっとも、すでに以前から辞書や文典の写本類が何種か存在し、それらが新たに学習する者の助けになってはいた。

(土井忠夫、森田武、長南実編訳(1980)『邦訳日葡辞書』(岩波書店) p. 4、下線筆者)

この記述にあるように、『日葡辞書』誕生以前の辞書の存在を窺わせる指摘がある。もちろん、この辞書がこの「ことばのやわらげ」のことを指し示すわけではないが、一種の辞書的役割を有する「ことばのやわらげ」が『日葡辞書』誕生以前に作成されていることを考慮に入れば、「ことばのやわらげ」の作成が『日葡辞書』の作成に多少なりとも影響を与えている可能性はあるだろう。この「ことばのやわらげ」について精査をすることで、宣教師たちがどのように辞書を作り上げ、そしてどのように日本語を学習しようとしていたのか、その過程が見えてくることもあるだろう。

ただし、「ことばのやわらげ」はキリシタン・日本語ローマ字本の『サントスのご作業』(1591)、『ドチリナキリシタン』(1592)、『ヒイデスの導師』(1592)、『天草版平家物語』・『伊曾保物語』(1593)¹⁾、『コンテムツスムンヂ』、の5冊にのみ付される。その採録語数を以下に示す。

表 キリシタン・日本語ローマ字本採録語数

	採録語数
サントスのご作業	2149
ドチリナキリシタン	207
ヒイデスの導師	993
天草版平家物語・伊曾保物語	1443
コンテムツスムンヂ	750

これだけの語が採録されているが、このすべての語の各本文内での出所を特定するのは容易な作業ではない。そこで、本稿ではこの「ことばのやわらげ」の内、最も採録語数が少ない『ドチリナキリシタン』(1592)に注目し、その採録語の出所を特定できたものを掲示する。しかし、紙幅の関係により本稿ではA部からN部までの語、計102語の出所と思われる本文を示す。さらに、他者がこの調査結果を利用しやすいように漢字・平仮名による翻字も付す。

2. 『ドチリナキリシタン』(1592)の「ことばのやわらげ」の特徴

『ドチリナキリシタン』は、1592年天草イエズス会コレジヨで刊行されたキリスト教の教義書である。本文は106頁で、107頁から114頁まで「DOCTRINA NO vchi cotoba ni yotte no yauarague」(ドチリナのうちことばによってのやわらげ)である。この「ことばのやわらげ」では各項目が以下のように記される。

110頁 Quainin. Faramu. Molher prenhe.

まず、見出し語Quainin.(懐妊)を示し、その後ろに語釈としてまず日本語でFaramu(孕む)、その後ろにポルトガル語で、Molher prenheと記される。ただし、108頁の「coi」に限りポルトガル語のみで語釈が表記される。

108頁 coi. Deshoneftidade.

Deshoneftidadeは『羅葡日辞書』(1595)で、

Cõxocu, ranguiõnaru cotouo yũ (好色、乱行なることをいふ)とあり、おそらく「恋」を指すと思われるが、この語のみポルトガル語のみの語釈で、残りの語はすべて日本語とポルトガル語の併用で語釈が付される。これは他の「ことばのやわらげ」には見られない特徴で、『サントスのご作業』ではポルトガル語のみでの語釈が多数記され、『ヒイデスの導師』、『天草版平家物語』、『伊曾保物語』、『コンテムツスムンヂ』では日本語のみで語釈を記されることが多い。日本語、ポルトガル語、双方の語釈が圧倒的多数を占めるのが、この『ドチリナキリシタン』(1592)の「ことばのやわらげ」の特徴といえる。

3. 調査方法

東洋文庫監修(2014)『重要文化財ドチリーナキリシタン天草版』(勉誠出版)の影印をテキストデータ化し、そのデータから「ことばのやわらげ」の見出し語を検索し、出所を確認した。複数出所箇所がある例は本文内初出の例を示すこととした。

4. 「ことばのやわらげ」本文と出所箇所

凡例

見出し語は太字で掲げる。それに続けて語釈を記す。また、見出し語、語釈に後続する()内に漢字、平仮名による翻字を添える。

本文、語釈の次行に、本文内での出所とその使用例を示す。-の左に丁数を、右に行数を示す。なお、本書は日本語ローマ字本であるため、()内の翻字は筆者があて、本語はそのまま掲げた。さらに、出所での該当語は太字で掲げた。

A部

・**Accô**. (悪口) Axij cotoba. (悪い言葉) Maas. Palauras.

8-15 Cuchi ni tonayuru coto ua, **accô** mõgo uo cuchi yori nogaxi tamauan tame nari.

(口に唱ゆることは、**悪口**妄語を口より逃したまはんためなり)

・**Acuguiõ**. (悪行) Axij voconai (悪い行い) Rũis obras.

13-4 Xeqen ni furu **acuguiõ**, acuji, mata acunin uo nazzuquete xeqen to yũ zo?

(世間にする**悪行**、悪事、また悪人を名付けて世間といふぞ?)

・**Acuji**. (悪事) Axij coto. (悪い事) Rũis coufas.

13-4 Xeqen ni furu acuguiõ, **acuji**, mata acunin uo nazzuquete xeqen to yũ zo?

(世間にする**悪行**、**悪事**、また悪人を名付けて世間といふぞ?)

・**Aguete cazô becarazu**. (あげて数ふべからず)

Cazoye tçucufarenu. (数え尽くされぬ) Não fe pode contar.

94-02 mi uo volamuru yori motome vru taitocu ua nacanaca **aguete cazôbecarazu**:

(身をおさむるより求めうる大徳は中々**あげて数ふべからず**)

・**Airen**. (哀憐) Auaremi. (哀れみ) Piedade.

27-14 Fucaqi gonghũnan, fucaqi go **airen**, fugurete amaqu vouaximafu Virgen Maria cana, tattoqi Deus no von faua Chrifto no von yacufocu uo vqe tatematçuru mi to naru tameni, tanomi tamaye.

(深きご柔軟、深きご**哀憐**、優れてあまくおはします Virgen Maria かな、尊き Deus の御母 Chrifto の御約束を受け奉る身となるために、頼み給へ)

・**Aifuru**. (愛する) Mote afobu coto. (弄ぶこと)

Amar.

14-04 Sore toyũ ua, mi no fucaqi nozomi to, tanomoxiqi to, **aifuru** to, nicumu to, yorocobi to, canaximi to, vofore to, icari, nado no coto nari.

(それといふは、身の深き望みと、頼もしきと、**愛する**と、憎むと、喜びと、悲しみと、恐れと、怒り、などのことなり)

・**Amanecu**. (遍く) Mina. (皆) Todos.

48-23 **Amanecu** yomigayeri taru Iuizo Geral no nochi ua ningen futatabi xifuru coto aru majiqi to yũ coto nari: (遍く蘇りたる Iuizo Geral の後は人間再び死することあるまじきといふことなり)

・**Anguia**. (行脚) Coco caxico ye ariqu fito. (ここかしこへ歩く人) Peregrino.

97-04 Itçutçu niua, **anguia** no mono ni yado uo cafu coto.

(五つには、**行脚**の者に宿を貸すこと)

・ **Anjin, qetgiô no itdô.** (安心決定の一道) Tafucari
uo fadamuru michi. (助かりを定むる道) Caminho
certo da falueação.

前 文 2-20 cono Doctrina ua ifsai no Chrifan no tameni
anjin qetgiô no ichidô nareba, tareximo core uo xiri,
vaqimayen coto xenyô nari.²⁾

(この Doctrina は一切の Chrifan のために**安心決定の**
一道なれば、誰しもこれを知り、弁へんこと専要なり)

B 部

・ **Baibai.** (売買) Vricai. (売り買い) Mercâcia

92-11 **baibai** uo moppara to furu mono no tame niua
fuxô naru fôxiqi tari to iyedomo,

(売買を専らとする者のためには不祥なる法式たり
といへども)

・ **Bacutai.** (莫太) Fanafada vôqina. (甚だ大きな)
Muito grande.

93-23 macotoni fono ribet yori, ideqitaru tocoro no
fonxit ua **bacutai** ni xite, von voqite ni xitagai, mi uo
vofamuru yori motome vru taitocu ua nacanaca agüete
cazôbecarazu:

(まことにその離別より、出できたところの損失
は**莫太**にして、御掟に従い、身をおさむるより求め
うる大徳は中々あげて数ふべからず)

・ **Banmot.** (万物) Yorozzu no mono. (万の物)
Todas as coufas.

37-06 **banmot** uo tçucuri tamauan tameni xitagi, tane,
dôgu, nado mo irazu xite, tçucuri tamô ga yuyeni,
(**万物**を作り給はんために下地、種、道具、なども
いらずして、作り給ふが故に、)

・ **Banmin.** (万民) Yorozzu no fito. (万の人) Todo
opouo.

前 文 2-15 Iôgue **banmin** ni tayafuqu cono mune uo
xiraximen ga tameni, cotoba ua zocu no mimi ni chicaoqu,
gui ua tenmei no foco uo qiuamuru mono nari.

(上下**万民**にたやすくこの旨を知らしめんがために、
言葉は俗の耳に近く、義は天命の底を極むるものなり)

・ **Bettai.** (別体) Bet no tai. (別の体) Outra fubftância.
37-14 Ima ua facu no mono izzure mo tagaini ittai ca,
bettai ca toyû coto uo arauaxi tamaye.

(今は作のものいづれも互いに一体か、**別体**かとい

ふことをあらはし給へ)

・ **Bôman furu.** (膨満する) Aqu. (飽く) Fartarfe.

99-1 Yotçu niua, Iufticia no qicat aru fito ua, **bôman faxe**
tamô beqi ni yotte, Beato nari.

(四つには、Iufticia の飢渴ある人は、**膨満させ**給ふ
べきによって、Beato なり)

・ **Bumo.** (父母) Chichi, faua. (父母) Pai & may.

54-20 **Bumo**, xujin tçucafa taru fitobito yori toga to naru
coto uo xeyo to iy tçuqeraren toqi mo, xitagô beqiya?

(**父母**、主人司たる人々より咎となることをせよと
言ひつけられんときも、従ふべきや)

・ **Bunhô.** (豊饒) Yutaca. (豊か) Prosperidade.³⁾

本文になし

C 部

・ **Caccacu.** (各々) Bechibechi. (別々) Outro diferente.

82-8 **caccacu** ni mon uo tonayeyo to voxie voqi tamô
mono nari.

(**各々**に文を唱へよと教え置き給ふものなり)

・ **Canjin.** (肝心) Canyô. (肝要) O effênçial.

31-8 Fides no **canjin** no giôgiô uo xinji tatematçuru to
arauafu mono nari.

(Fides の**肝心**の条々を信じ奉るとあらはすものなり)

・ **Canmi.** (甘味) Amai agiuai. (甘い味わひ)
Douzura.

27-5 ichimei, **canmi**, vareraga Sperança nite vouaximafu
von miye vð rei uo naxi tatematçuru.

(一命、**甘味**、我らが Sperança にておはします御影
御礼をなし奉る)

・ **Carifome ni.** (かりそめに) Carini. (かりに) Lei
uemente.

42-8 tada **carifome ni** yuruxi tamô ni voiteua, fitobito
lafodo go von uomo mixiritatematçuru majiqiga yuye
nari.

(**ただかりそめに**赦し給ふに於いては、人々さほど
御恩をも見知り奉るまじきが故なり)

・ **Catadoru.** (象る) Nifuru. (似する) Deriuarfe.

4-5 Chrifan toyû ua, nani uo **catadoritaru** nazo ya?

(Chrifan といふは、何を**象**りたるなぞや?)

・ **Caxacu.** (呵責) Xeme. (責め) Tormentos.

30-16 Poncio Pilato ga xita ni voite, **caxacu** uo vque
coraye, Cruz ni caquerare, xixi tamaite miqvan ni

vofamerare tamö.

(Poncio Pilatoが下に於いて、呵責を受け堪へ、Cruz
にかけられ、死したまひて御棺におさめられ給ふ)

・ **Caxxitaru**. (渴したる) Nodo cauaqu. (喉渴く)

Ter fede.

96-21 Futatçu niua, **caxxitaru** mono ni mono uo
nomaſuru coto.

(二つには、**渴したるもの**にものを飲ますること)

・ **Chicai**. (誓) Xeimon. (誓文) Iuramento.

50-21 ni, tattoqi mi na ni caqete, munaxiqi **chicai**
fubecarazu.

(二、尊き身名にかけて、むなしき誓すべからず)

・ **Chiguiiri**. (契り) Fūfu no yacufocu. (夫婦の約束)

Liança.

88-20 xōtocu Matrimonio no yacufocu ua tagaini
itçumademo vacaruru coto arumajiqi tono cataqi **chiguiiri**
nareba nari.

(生得 Matrimonio の約束は互いにいつまでもわかる
ことあるまじきとのかたき**契り**なればなり)

・ **Chinami**. (因み) Cumi furu. (与する) Vniaõ.

12-20 Acu no taylori to naru **chinami** uo nanito fuxegu
beqi zo?

(悪のたよりとなる**因み**をなにと防ぐべきぞ?)

・ **Chinomigo**. (乳飲み子) Futatçu, mitçu no varambe.

(二つ、三つの童) Minino de mama.

68-06 vonajiqu **chinomigo** uo fodatçuru vonna ca, mata
tamexi vomotte Ieium mi no ata to naru to voboyuru toqi
ua, Ieium xezu totemo, curuxicarazu:

(同じく**乳飲み子**を育つる女か、またためしを以て
Ieium 身の仇となると覚ゆるときは、Ieium せずとて
も、苦しからず)

・ **Chrifan uo firugayefu**. (Chrifanを翻す) Nari cayeru. (な
り変える) Deixar de fer Chrifam.

70-17 Sore niyotte Mortal toga uo vocafu totemo,
Chrifan uo firugayefu coto niua arazu.

(それによって Mortal 咎を犯すとても、**Chrifan**を
翻すことにはあらず)

・ **Chütö**. (偷盗) Nufumi. (盗み) Furto.

51-5 Daixichi, **chütö**. fu becarazu.

(第七、**偷盗**すべからず)

・ **Cocorouo voqu**. (心を置く) Cocoro uo fedatçuru. (心
を隔つる) Encobrir.

90-3 vonna ua voto ni **cocoro uo voqi**, fūfu no naca
fucoximo yafuqi coto naqu, qizzucaí nomi tarubexi.

(女は音に**心を置き**、夫婦の仲少しも安きことなく、
氣遣いのみたるべし)

・ **Cocuchū**. (国中) Cuni no vchi. (国の内) Dentro
do Reino.

92-8 tatoyeba **cocuchū** yori tacocu ye fachibocu uo idafu
coto aru becarazu tono fatto uo vocaruru toqi;

(たとえば**国中**より他国へ八木を出だすことあるべ
からずとの法度を置かるるとき)

・ **Côfi**. (后妃) Teivö no tçuma, i. Qifaqi. (帝王の妻、
妃) Rainha.

27-4 Auaremi no von faua, **côfi** nite maximaſu von mini
vonrei uo naxi tatematçuru:

(哀れみの御母、**后妃**にてまします御身に御礼をな
し奉る)

・ **Cöjō**. (高上) Sugureta. (優れた) Sublime.

45-19 migui uo **cöjō** to mochiyuru dōrini macaxe,
cacuno gotoqu möxi tatematçuru nari.

(右を**高上**と用ゆる道理に任せ、かくのごとく申し
奉るなり)

・ **Coi**. (恋) Deshoneftidade.

51-07 Daicu, tano tçuma uo **coi** fubecarazu.

(第九、他の妻を**恋**すべからず)

・ **Côqiū**. (后宫) Qifaqi no coto. (妃のこと) Rainha.

24-09 **côqiū** nite maximaſu nari.

(**后宫**にてましますなり)

・ **Corai**. (古来) Inixiye. (いにしへ) Tempos paſados.

44-13 Cono tocoro ni **corai** no jennin tachi go xuxxe uo
machi tatematçuraretaru tocoroni,

(このところに**古来**の善人たちご出世を待ち奉られ
たところに)

・ **Cöxeqi**. (行跡) Yuqu ato. (行く跡) Obras.

29-16 go **cöxeqi** uo manabi tatematçuru beqi tame nari.

(ご**行跡**を学び奉るべきためなり)

・ **Coxicata**. (来し方) Suguixi cata. (過ぎし方)
Ategora.

66-20 Mazzu vaga **coxicata** itaru tocoro to,

(まず我が**来し方**いたるところと)

・ **Cöxi furu**. (号しする) Nazzuquuru. (名づくる)
Nomear.

39-17 Core funauachi Deus Filho to **cöxi** tatematçuru

nari.

(これ即ち Deus Filho と号し奉るなり)

・ **Cudan.** (件) Migui. (右) Que eſta dito.

103-18 **cudan** no Sacramento uo fazzucaran mono ni toga no von yuruxi to, goxō no qeracu uo ataye tamauan tameni

(**件**の Sacramento を授からんものに咎の御赦しと、後生の快樂を与へ給はんために)

・ **Cuguiō furu.** (恭敬する) vyamō. (敬ふ) Reuerençiar.

105-23 cono mitçu no Perfona uo dōjen ni **cuguiō** raifai tçucamatçuru coto canyō nari.

(この三つの Perfona を同前に**恭敬**礼拝仕ること肝要なり)

・ **Cunō.** (苦惱) Curuximi nayamu. (苦しみ悩む)

Tormentos, & trabalhos.

42-7 Deus cafodo no **cunō** uo coraye tamauazu xite,

(Deus かほどの**苦惱**を堪へ給はずして)

・ **Cunju.** (群集) Muragari atçumar. (群がり集まる)

A juntamento.

46-19 arauaxi tatematçuru moromoro no Chriftan no **cunju** uo nazzuquru na nari.

(あらはし奉る諸々の Chriftan の**群集**を名づくる名なり)

・ **Curacu.** (苦樂) Curuximi to tanoximi. (苦しみと楽しみ) Tormentos, & gloria.

2-8 tada jen acu ni xitagatte, goxō no **curacu** ni azzucaru mono nari.

(ただ善惡に従って、後生の**苦樂**にあずかるものなり)

D 部

・ **Dai yccu.**⁴⁾ (第一句) Fajimeno cotouari. (初めの理) Oprimeiro verfo.

17-19 **Dai iccu** me no, ten ni maximafu vareraga von voya toyū cotoba nari.

(**第一句**目の、天にまします我らが御親といふ言葉なり)

・ **Daigi no foco.** (大地の底) Tçuchi no foco. (土の底) No profundo da terra.

30-18 **Daigi no foco** ye cudari tamai, fannichi me ni yomigayeri tamō.

(**大地の底**へ下り給ひ、三日目に蘇り給ふ)

・ **Dōtai.** (同体) Vonaji tai. (同じ体) A mesma fubftância.

35-14 Cono Idea ua facu no mono niua arazu, tada Deus to **dōtai** nari.

(この Idea は作のものにはあらず、ただ Deus と**同体**なり)

・ **Dōxin.** (同心) Vonaji cocoro. (同じ心) Confentimento.

56-21 fono nuxi no **dōxin** naqu xite toru coto mo, todome voqu coto mo aru becarazu:

(その主の**同心**なくしてとることも、とどめおくこともあるべからず)

F 部

・ **Fachibocu.** (八木) Come. (米) Arroz.

92-9 tatoyeba cocuchū yori tacocu ye **fachibocu** uo idafu coto aru becarazu to no fatto uo vocaruru toqi;

(たとえば國中より他国へ**八木**を出だすことあるべからずとの法度を置かるるとき)

・ **Fan ni chiribamuru.** (版にちりばむる) Fangui ni firaqu. (版木に開く) Diuulgar imprimindo.

前 文 2-9 **fan ni chiribame**, mayoi uo terafu cagami to nafubexi.

(**版にちりばめ**、迷いを照らす鑑となすべし)

・ **Finja.** (貧者) Finin. (貧人) Pobre.

98-17 Fitotçu niua, Spiritu no **finja** ua, ten no cuni uo motçu ni yotte, Beato nari.

(一つには、Spiritu の**貧者**は、天の国を持つによって、Beato なり)

・ **Fiōgui.** (評議) Dancō. (談合) Fazer cōfulta. 本文になし

・ **Fitgiō.** (必定) **Macoto.** (実) Certifsimo, verdadeiro.

53-23 Macoto ni to yūca, xinjit toyū ca, mata ua vtagaj naxi, **fitgiō** nari to yū tagvi nari.⁵⁾

(まことと言ふか、真実と言ふか、または疑いなし、**必定**なりといふ類なり)

・ **Fō.** (法) Narai. (習ひ) Lei, ordem.

88-10 Deus yori voxie tamō Natura no **fō** ni macaxe, (Deus より教え給ふ Natura の**法**に任せ)

・ **Fongo.** (本語) Fon no cotoba. (本の言葉) Propria palaura.

35-14 Sono xosō uo **fongo** ni Idea toyū nari.

(その諸相を**本語**に Idea といふなり)

・ **Fōxiqi.** (方式) Fatto. (法度) Lei.

92-8 vaga tameniua fono **fōxiqi** fuca nari to vomō mono

mo arubexi:

(我がためにはその**方式**不可なりと思ふものもあるべし)

・ **Fuca nari**. (不可なり) Yô nai. (用ない) Inutil.

92-8 vaga tameniuua fono fõxiqi **fuca nari** to vomô mono mo arubexi:

(我がためにはその**方式不可なり**と思ふものもあるべし)

・ **Fucaxigui**. (不可思議) Vomô coto canauanu gui. (思ふこと叶はぬ義) Coufa admirauel.

本文になし

・ **Fusocu**. (不足) Tarauazu. (足らず) Falta.

90-10 famazama no **fufocu** ideqitarubexi.

(様々の**不足**出できたるべし)

・ **Futai**. (不退) Itçumademo. (いつまでも) Infinito.

100-7 Deus no Gloria iyamaxini maximaxi, ninguen ua bujini facaye, xinin ua **futai** no qeracu ni itaru yõni tanomi tatematçuru.

(DeusのGloriaいやましにましまし、人間は無事に栄え、死人は**不退**の快樂にいたるやうに頼み奉る)

・ **Fuxõ naru**. (不祥なる) Qi ni auanu. (気にあはぬ)

Coufa trabalhofa.

92-11 baibai uo moppara to furu mono no tame niua **fuxõ naru** fõxiqi tari to iyedomo,

(売買を専らとするもののためには**不祥なる**法式たりといへども)

G 部

・ **Giübon**. (重犯) Fucai toga. (深い咎) Gråde peccado.

94-11 vonna mo vaga tçuma ni arazaru tani fadayeuo fururu coto, core mottomo **giübon** nari.

(女も我が妻にあらざる他に肌を触ること、これ最も**重犯**なり)

・ **Guedat**. (解脱) Iiyü. (自由) Liurar.

6-7 Vareraga von aruji Iefu Chrifto Cruz no vye nite varera uo **guedat** xi tamõ ni yotte nari.

(我らが御主Iefu Chrifto Cruzの上にて我らを**解脱**し給ふによってなり)

・ **Guen, ni bi, jet, xin**. (眼、耳、鼻、舌、身) Me, mimi, fana, xita, mi. (眼、耳、鼻、舌、身) Os çinco fentidos.

73-22 Itçutçu ari: core funauachi **guen, ni, bi, jet, xin** no

coto nari.

(五つあり: これ即ち**眼、耳、鼻、舌、身**のとなり)

・ **Guiõgui**. (行儀) Xofa. (所作) Obras.

14-22 mata tçutomu beqi **guiõgui** uomo arauafubeqi nari.

(またつとむべき**行儀**をもあらはすべきなり)

・ **Guijet**. (義絶) Naca uo tagõ. (仲を違ふ) Diuifam.

91-12 mataua fono Ichimon tagaini **guijet** xite, vomouazaru ni, vondeqi to nari,

(またはその一門互いに**義絶**して、思はざるに、怨敵となり)

・ **Gonjõ xi**. (言上し) Mõxi aguru. (申し上ぐる)

Falar a pefsoa alta.

24-01 Sancta Ifabel Virgen Maria ni **gonjõ** xeraretaru coto ba ni,

(Sancta Ifabel Virgen Mariaに**言上**せられたる言葉に)

・ **Gufin**. (狗兄) Tengu. (天狗) Demonio.

43-3 ifsai xujõ uo cano **gufin** no te yori vbai tori tamai,⁶⁾

(一切衆生をかの**狗兄**の手より奪いとり給ひ)

I 部

・ **Iafui**. (邪推) Axij fuiiõ. (悪い推量) Iuixo temerario.

57-13 Fito no vye ni **jafui** xezu, qiogon uo yũ becarazu.

(人の上に**邪推**せず、虚言を言ふべからず)

・ **Ichirui**. (一類) Fitotçu no taguy. (一つの類)

Familia.

37-23 Materia toyũ coto ua **ichirui** naredomo, xõtai ua caccacu nari.

(Materiaといふことは**一類**なれども、正体は各々なり)

・ **Icufobacu**. (幾許) Icafodo. (いかほど) Quãgrande.

7-15 toganin uo Graça vomotte tori cayexi tamõ coto, jiyũ ni naxi tamõ go von no fucaqi coto, **icufobacu** no coto naran ya?

(咎人をGraçaを以て取りかえし給ふこと、自由になし給ふ御恩の深きこと、**幾許**のことならんや?)

・ **Iro ca**. (色香) Iro, niuoi. (色、匂ひ) Cor. & cheiro, accidentes.

80-7 fore yori Pam to, budõ no faqe no **iro, ca**, agiuai no xita ni von aruji Iefu Chrifto no goxõtai ten ni maximafu gotoqu,

(それより Pam と、葡萄の酒の**色、香**、味わいのしたに御主 Iefu Chrifto のご正体天にましますごとく)

・ **Ixxi**. (一紙) Cami ichimai. (紙一枚) Hũa folha de papel.

25-2 Cono jũ gocagiô no daimocu ua fangui ni firaqitaru **ixxiari**.

(この十五箇条の題目は版木に開きたる一**紙**あり)

・ **Ixxin puran ni**. (一心不乱に) Fucai xinjin. (深い信心) Deuota, & qui□mente.⁷⁾

61-16 Sancta Eccleſia yori iuai tamô fini **ixxinpuran ni** Miſſa uo fajime yori vouari made vogami tatematçurubexi tono von ſadame nari.

(Sancta Eccleſia より祝ひ給ふ日に**一心不乱**に Miſſa を始めより終わりまで拝み奉るべしとの御定めなり)

・ **Ixxin**. (一身) Fitori. (一人) Hũ sò corpo.

89-20 fonovye fũfu tagaini **ixxin** no gotoqu, vomoi ai, yôjo aran toqi, chicarauo foye auanga tame nari.

(その上夫婦互いに**一身**のごとく、想い合い、用所あらんとき、力を添へ合はんがためなり)

・ **Ixxo**. (一所) Fitotocoro. (一所) Hũ lugar.

31-11 von aruji Iefu Chrifto no Apoſtolo tachi Spiritu Sancti no von michibiqi vomotte, **ixxo** ni atçumari tamaite,

(御主 Iefu Chrifto の Apoſtolo たち Spiritu Sancti の御導きを以て、一**所**に集まり給ひて)

・ **Ixxôgai**. (一生涯) Ixxe no aida. (一世の間) Em toda avida.

62-6 Core funauachi von aruji Iefu Chrifto no go **ixxôgai** no von xofa to,

(これ即ち御主 Iefu Chrifto のご**一生涯**の御所作と)

・ **Iyamaxi**. (いやまし) Iyo iyo mafu. (いよいよ増す) Em mais abundancia.

63-16 Mitçu niua, nauo **iyamaxini** go von uo vqe tatematçuran tameni, ſaſague mōfu mono nari.

(三つには、な**おいやまし**に御恩を受け奉らんために、捧げ申すものなり)

・ **Iengo**. (前後) Maye mo, nochimo. (前も、後も) Antes, & depois.

67-10 tattomi tatematçuru fodo no chiye aru Chriſtan ua, izzuremo Paſchoa no **jengo** ni, Biſpado no go fatto ni macaxe,

(尊み奉るほどの知恵ある Chriſtan は、いずれも

Paſchoa の**前後**に、Biſpado の御法度に任せ)

・ **Iengon**. (善根) Yoi xofa. (善い所作) Virtude.

70-21 Oratio uo mōxi, jenji, **jengon** uo itafu coto mo yeqi naxi ya?

(Oratio を申し、善事、**善根**をいたすことも益なしや)

・ **Iippu**. (実否) Macoto ca, foragotoca. (実か虚言か) O verdadeiro, & falſo.

53-21 xicaraba, mono no **jippu** uo cotouaru tameni ua, icaga yũ beqiya?

(しからば、ものの**実否**をことわるためには、いかが言ふべきや?)

・ **Iixet**. (時節) Iibun. (時分) Tempo.

14-12 Soreniyotte vareraga nangui, daiji no **jixet** go laido riyacu arubeqi tameni,

(それによって我らが難儀、大事の**時節**ご済度利益あるべきために)

・ **Iũman xi**. (充滿し) Michi, mitçu. (満ち満つ) Eſtar cheo.

13-18 axiqi cuxe no **jũman xitaru** tocoro uo ſaxite cacu nazzuquru nari.

(あしき癖の**充滿**したところをさしてかく名づくるなり)

・ **Iunzu**. (準ず) Vonaji. (同じ) Fazerſe, vel fer da meſma maneira.

37-21 Xicaruni, ixi ua vma, vxi ni arazu, ta mo core ni **junzu**.

(しかるに、意思は馬、牛にあらず、他もこれに**準ず**)

M 部

・ **Miyo**. (御代) Von cuni. (御国) O feu Reino.

16-17 Ten ni maximafu vareraga von voya mi na uo tattomare tamaye: **miyo** qitari tamaye.

(天にまします我らが御親御名を尊まれ給へ：**御代**来たり給へ)

・ **Môgo**. (妄語) Midarina cotoba. (妄りな言葉) Palauras defordenadas.

8-14 Cuchi ni tonayuru coto ua, accô **môgo** uo cuchi yori nogaxi tamauan tame nari.

(口に唱ゆることは、悪口**妄語**を口より逃し給はんためなり)

・ **Mōnen**. (妄念) Midarina nen. (妄りな念) Pêfamentos defordenados.

8-14 Fitai ni tonayuru cotoua Deus yori **mōnen** uo noqe tamauan tame nari.

(額に唱ゆることはDeusより**妄念**を退け給はんためなり)

・**Môtô**. (毛頭) Sucoxi. (少し) A ponta de hũ cabelo.

42-15 **môtô** fodo no von toga mo von mi ni maximafazu xite,

(毛頭ほどの御咎も御身にましまさずして)

・**Mufen**. (無辺) Facari nai coto. (量りないこと) Immenfô.

39-3 Deus von co uo xōji tamō coto ua Natura no vye naru Spiritual Deus no quōdai **mufen** no Entendimento vomotte xōji tamō nari.

(Deus御子を生じ給ふことはNaturaのうえなるSpiritual Deusの広大**無辺**のEntendimentoを以て生じ給ふなり)

・**Mujun**. (矛盾) foco, tate. (矛、盾) Arm

8-19 Sonoyuyeu Spiritu nareba, tōqen **mujun** mo care ni mochiyuru michi naxi.

(その故はSpirituなれば、刀剣**矛盾**もかれに用ゆる道なし)

・**Muriō**. (無量) Facari naxi. (量り無し) infinito.

34-6 Deus ua **muriō** quōdai ni vouaximaxi, vareraga chiye ua vazzucani caguiari aru coto nareba,

(Deusは**無量**広大におはしまし、我らが知恵は僅かにかぎりあることなれば)

N部

・**Naigaxiro**. (蔑ろ) Caroximuru. (軽しむる) Em pouca eftima.

9-19 Cruz uomo mochijsu, cayette **naigaxiro** ni furu to iyedomo, arutoqi amata no tengu muragaritaru tocoro ni iri,

(Curzをも用いず、かえって**蔑ろ**にすると言へども、あるときあまたの天狗群がりたるところに入り)

・**Nannho**. (男女) Votoco, vonna. (男、女) Homens, & molheres.

56-3 Cotoba, xofa vomotte **nannho** tomo ni inran no toga uo vocafu becarazu:⁸⁾

(言葉、所作を以て**男女**ともに淫乱の咎を犯すべからず)

・**Nanxi**. (男子) Vonocogo. (男子) Filho macho.

90-13 fono miguiri **nanxi** ua chichi ni tomonaite, mamafaua ni foi, vqime uo coraye:

(その**御男子**は父に伴ひて、継母に添ひ、憂き目を堪え)

・**Nariuai**. (なりはひ) Motomuru mono. (求むるもの) Dizmos, Primicias.

68-13 Tocoro no catagui ni xitagatte, Bifpo ye **nariuai** no vchi uo fafagubexi to no gui nari.

(ところの形儀に従って、Bifpoへ**なりはひ**の内を捧ぐべしとの義なり)

・**Nengiū**. (年中) Toxi no vchi. (年の内) Dentro do anno.

61-5 Daini xemete **nengiū** ni ichido, Confiffam uo mōfu bexi.

(第二せめて**年中**に一度、Confiffamを申すべし)

・**Nenrei**. (年齢) Toxicoro. (年頃) Idade.

64-5 Ien acu uo vaqimayuru fodo no **nenrei** naru Chriftan ua izzuremo,

(善悪を弁まゆるほどの**年齢**なるChriftanはいずれも)

・**Nhoxi**. (女子) Mufume. (娘) Filha.

90-15 mata **nhoxi** ua faua ni tēuqi yuqi, mamachichi ni aite, icafo do no funhoi uoca xinogu beqi?

(また**女子**は母につきゆき、継父に会ひて、いかほどの不如意をか凌ぐべき?)

・**Nhūmet**. (入滅) Xifuru. (死する) Morrei.

44-20 Sexta Feria ni **gonhūmet** no toqi, tattoqi von Anima go xiqitai uo fanare tamai,

(Sexta Feriaに御**入滅**のとき、尊き御Anima御色体を離れ給ひ)

・**Nhūnan**. (柔軟) Yauaracana. (柔らかな) Clemente.

27-14 Fucaqi **gonhūnan**, fucaqi go airen, fugurete amaqu vouaximafu Virgen Maria cana,

(深き御**柔軟**、深き御哀憐、優れてあまくおはしますVirgen Mariaかな)

・**Nhūua**. (柔和) Yauaracana. (柔らかな) Manfô.

98-19 Futatçu niua, **nhūua** naru mono ua, chi uo xindai fubeqi ni yotte, Beato nari.

(二つには、**柔和**なるものは、智を進退すべきによって、Beatoなり)

5 まとめと今後の課題

ここまで、102語の出所箇所を提示した。この精査の結果、102語の内3語が『ドチリナキリシタン』(1592)の本文に記載のない語の採録であった。また、すでに全体の調査は完了しているが、全体では8例が本文に記載がない(採録率が96.1%)⁹⁾。

なお、A部からN部のBunhō.(豊饒)、Fiōgui.(評議)、Fucaxigui.(不可思議)の3例がこの本文で使用されていないが、『日葡辞書』ではすべて採録されている。この点から、『ドチリナキリシタン』の本文にこそ記載がないものの、宣教師たちの日本語学習において、これらの語を必要な語として把握していたといえる。そういった語もこの「ことばのやわらげ」にあることから、この「ことばのやわらげ」がこの本に記載のある語を学ぶためでもあり、且つ一般的な日本語を学ぶという性質も有している部分も備えていたと指摘できる¹⁰⁾。

また、「豊饒」は大塚(1954)に「ドチリナキリシタン」の国字本にのみ見えるとの指摘があり、「ドチリナキリシタン」の元となった原稿からどのように「ドチリナキリシタン」の4冊が作成されたか、その成立過程を垣間見ることの出来る例ともいえる¹¹⁾。おそらく元の原稿には「豊饒」があったものの、本が成った際に何らかの事情で除かれたが、「ことばのやわらげ」には残った。この点で、「ことばのやわらげ」は本が完成した後に、必要な語を抜き出して成ったわけではなく、本文と同時に作成されていた可能性が窺われる。一方、「評議」「不可思議」は国字本でも見られないが、「評議」の語釈の「談合」の類義語とみえる「談義」が本文内で用いられ(2-10)、「不可思議」も本文内で「不思議」が2例用いられており(80-19、80-20)、これらとの明確な区別、あるいは関連語として把握するという役割で採録されたとも考えられる。この点が先述した山田(2004)の指摘する一般辞書の傾向に該当する部分と言える。

また、今回の102語の内、『日葡辞書』に見出し語として記載があるのは、91語(内7語は品詞、活用などが異なり、完全合致ではない)で、10語は『日葡辞書』に見出し語として記載がない。ただし、その内の9語はイディオムであり、概ねイディオムを見出し語として記載しない『日葡辞書』では当然と

いえる。残り1語のmiyo(御代)のみが今回の調査範囲で『日葡辞書』に見出し語として記載のないものである。

「ことばのやわらげ」を詳細に観察すると、『日葡辞書』に採録されていないものの、この大部の辞書誕生以前の宣教師たちが日本語学習において取りあげていた語の存在も確認できる。今回は紙幅の関係でA部からN部までの出所のみを示したが、Q部からZ部についてはまた別の機に示す¹²⁾。今後もイエズス会が『日葡辞書』誕生以前に作成した各種「ことばのやわらげ」の精査し、「ことばのやわらげ」の全体像をとらえていくことを継続していく。

注

- 1) この2冊は合綴されたもの。
- 2) 「ことばのやわらげ」ではitdō本文ではichidō。
- 3) 大塚(1954)に国字本にのみ「豊饒」が見えるとの指摘がある。
- 4) 「ことばのやわらげ」ではyccu、本文ではiccu。
- 5) 虫損のため「疑い」は類推による。
- 6) 虫損のため「衆生」から「狗兄」までの間は類推による。
- 7) 虫損のため判読できず、□とした。
- 8) 虫損のため「を以て」は類推による。
- 9) 中野(2022)は、『サントスの御作業』(1591)にある「ことばのやわらげ」(内抜書)でも、本文で用例が見当たらない語が存在することを指摘する。ここからも「ことばのやわらげ」の採録語がすべて本文にあるものではないということが窺われる。
- 10) なお、Q部からZ部で本文に記載されない5語も『日葡辞書』では記載されている。Qifocu.(規則)、Taifai.(大才)、Tamuqe, uru.(手向ける)、Xocujen.(食前) Yrui.(衣類)の5例である。
- 11) 国字本『どちりいなきりしたん』(1591)、国字本『どちりなきりしたん』(1600)、ローマ字本『ドチリナキリシタン』(1592)、ローマ字本『ドチリナキリシタン』(1600)の4冊。
- 12) 本稿で紙幅の関係で掲載できなかったQ部からZ部については、『中部大学リベラルアーツ論集』第5号(Chubu University Journal of Liberal Arts, Vol. 5、2023年刊行)に掲載する。

参考文献

大塚光信(1954)「本語小考」(『国語国文』23-6)

千葉軒士 (2017) 「「天草版平家物語難語句解」の編纂意図
—「言葉の和らげ」との比較から—」(『名古屋大学国
語国文学』110)

豊島正之 (2017) 「キリシタン版ローマ字本「言葉の和らげ」
の文脈依存性に就て」(上智大学国文学論集第50集記
念号)

中野遙 (2022) 「キリシタン版『サントスの御作業の内抜書』
使用語彙とキリシタン版『日葡辞書』掲載語彙につい
て」(第16回キリシタン語学研究会研究発表原稿)

森田武 (1976) 『天草版平家物語難語句解の研究』(清文堂
出版)

山田健三 (2004) 「キリシタン・ローマ字文献のグロッサ
リー」(田島毓堂(2004)編『語彙研究の課題』和泉書院)

使用テキスト

東洋文庫監修 (2014) 『重要文化財ドチリーナキリシタン
天草版』(勉誠出版) を利用した。

【付記】 本研究は2021年度科学研究費助成事業(基
盤研究(C))「宣教師によるキリシタン・ローマ字
文献の表記法の実態解明」(21K00612) による研究
成果の一部である。

受付日 2022年9月30日

受理日 2022年11月18日

Abstract

The purpose of this study is to scrutinize the words described in “cotoba no yauarague” in *Doctrina Christian* (1592) and to quote their sources. There are 207 words in this “cotoba no yauarague”, and this study showed the sources in of 102 of them, from A to N. Most of the written words are used in “*Doctrina Christian*”, but it was confirmed that there are some words that are not used in the text. It also contains words not described in the “*Vocabulario da Lingoa de Iapam*” (1603–1604). Before the “*Vocabulario da Lingoa de Iapam*” was printed, the words that the missionaries paid attention to in learning Japanese were confirmed.

Keywords: *Doctrina Christian*, *cotobano yauarague*, *Vocabulario da Lingoa de Iapam*